

赤城山 駒ヶ岳 (1685m)・黒檜山 (1827m)

[山行日] 1月04日(日)・晴れ

[集合場所] 小山市役所 7:00

[交通] 車1台

[費用] 3,200円

[メンバー] CL:仙石 他計3名

[コースタイム]

小山市役所7:00＝大沼大洞駐車場9:50～大洞登山口10:00～駒ヶ岳山頂11:50～
黒檜山山頂12:40(昼食)13:40～登山口14:30～駐車場15:00＝あいのやま温泉＝
小山市役所18:30

正月の4日、孫が来ているのに、じいちゃんは山かと白い目で見られる中、白い雪を踏みしめるべく赤城山に向かった。仙石さんの運転で50号線を進み、山道に入ると路面が白く輝いていた。今年の雪は多いので期待しながら高度を稼いでいった。(筆者は、ぐっすり熟睡していた)

大沼が見えてきた。湖面が全面凍結して、ワカサギ釣りでにぎわっていた。放射能の心配は、無くなったのか？駐車場には、多くの車が止まっていた。半数ぐらいが、登山か？装備を揃え、準備運動をして登山口



に向かった。積雪は、20-30cm程度か。

車道を横切り、登山口へ。10分ほど登ったところで、アイゼン(12本)を装着した。高崎さんが使わなくなったアイゼンを私の靴でも使用できるように改良して、初めてなので、問題がないか心配だったので、早めの装着としました。(一部再改良の点が出ましたが問題なく機能発揮してくれました。)駒ヶ岳までの勾配はかなりきつく、踏み跡をたどっても、ずると落ちて苦労しました。長い鉄の階段は、全面雪で覆われている場合には、まだ良いが、三角に雪が固まっているところは、アイゼンの前2本を蹴り込み、

歩を進めた。

尾根までの距離は遠かった。ひたすらゆっくり足をおろし、体重移動をして登った。風もなく、気温は-3~4度程度か、ダウンを一枚脱いでも汗ばむ感じで白い世界を楽しんだ。尾根に出る手前では、積雪も1m近くで、仙石さんの足が潜る。周りの雪を踏み跡に落とし、沈みを少なくして進む。

尾根に出た。関東平野が眼下に広がっている。富士山・浅間山・秩父連峰・昨年登った谷川岳も視野に飛び込んできた。足元は白一面、冬の雪山の魅力である。この魅力に飲みこまれないようにしていたのだが。(半分ぐらい飲みこまれてしまった)

尾根からは、勾配は楽になったが、狭い尾根の南側に雪庇。駒ヶ岳山頂は200m先。12時近いが、昼食は、黒檜山山頂の予定だ。行動食を口に入れ、駒ヶ岳山頂を後にする。約70m近く下る。下りのアイゼンはよく効く。快調に下り、約200mの登りで黒檜山山頂だ。ここの登りもきつい。木々の間を進むが、直登に近い。北西の風にさらされ始めた。でも、防寒をするほどではない。小休止をとりながら山頂を目指した。



黒檜山山頂は、それほど広くはない。風を避け、昼食のお湯を沸かし、カップめんとコーヒーを流し込んだ。



北側に白く化粧した武尊山、袈裟丸山・日光連山を見ることが出来た。いつまで居ても飽きない景観だが、泊るわけにはいかない。もと来た道を少し戻り、分岐点を右にとり下山。下りも急勾配。かかとから降ろし、少々滑るように下る。下りは楽だというが、雪道は違う。足の降ろし方、歩幅を考えて行わないと、膝にくる。岩が露出している所は、要注意。しっかりアイゼンの中央で捉え、安定を確保する。黒檜山山頂から 400m程度下ると気温も上昇し、雪の表面が湿潤している。

ここまで来ると勾配も緩くなり、車道までは、70m程度下れば着く。1時間の予定が50分で下ってきた。しっかり、雪の感触を足の裏に残して、本日の雪山は、完了。

帰りに温泉で、筋肉・緊張した心を癒して帰路に着いた。

(島田)